

🕒 1分ちょっとで、大枠をつかむ！

医療費

MEDICAL EXPENSES

2年に1度の改定が
やってきた！
今回のポイントは？



FREE
PAPER
あさクリ

ASANO CLINIC IN SOJA

08

2026 No.125

年をとっても
病を持っても
今を生きる
喜びの支援をする情報紙

診療報酬が変わると、 私たちの医療はどう変わる？



● 診療報酬って何？

病院やクリニックで受ける診療や検査、訪問診療などには、それぞれ国が決めた料金表があります。これを診療報酬といい、2年ごとに見直されています。今回の改定による私たちの医療への変化を見ていきましょう！

● 2026年改定 ～あさのクリニックからお伝えしたい3つのポイント～

POINT

01 「病院から地域へ」医療連携の充実

「通院が難しくなっても住み慣れた自宅で暮らし続けたい」という希望を支えるため、病院・診療所・訪問看護・介護事業所の連携がさらに重視されています。

こんな時はご相談ください

- 病院への通院が困難になってきた
- 通院の付き添いが難しい
- 退院後の生活に不安がある
- 認知症などの症状で介護が必要になってきた

POINT

02 「マイナ保険証」でより安全な医療へ

マイナ保険証で同意のもと、お薬の情報や特定健診の結果、受診歴などを医師や薬剤師が確認できるようになり、より安全で質の高い医療につながることが期待されています。

マイナ保険証だと…

- お薬の重複を防ぎやすくなる
- 飲み合わせを確認しやすい
- 初めて受診する医療機関でも必要な情報を共有しやすい
→ 救急時にも役立つ場合があります

POINT

03 ますます大切になる「かかりつけ医」

今回、患者さんの病気だけでなく、生活や介護も含めて継続的に支える医療が重視されています。

かかりつけ医がいると…

- 体調の変化を早めに相談できる
- 必要な専門医や病院につなげてもらえる
- 通院が難しくなったときに訪問診療へ移行しやすい
- 介護サービスとの連携がスムーズになる

MESSAGE 医療は「病院で受けるもの」から、「地域全体で支えるもの」へ。

通院、在宅医療、介護サービス、そしてデジタル技術を活用しながら、皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療の仕組みは少しずつ変わっています。あさのクリニックも、外来診療から訪問診療まで、地域の皆さまの暮らしを支える「かかりつけ医」として取り組んでいます。通院が難しくなった際は、訪問看護ステーションやケアマネジャー、病院などと連携しながら、ご自宅での療養をサポートしています。「自宅で診てもらう」という選択肢についても、お気軽にご相談ください。